

オリエンテーリング・町内会行事でバカうけ!

木村佳司

なぜか町内体育大会がオリエンテーリングになってしまった塩尻市北小野上田区。長野県 OL 協会の木村は要請を受けてコース設定と運営を行う。とても楽な準備と運営にも関わらず、町内会の中ではオリエンテーリングがバカうけした。そこには競技志向とは違った、幅広いオリエンテーリングの楽しみがあった。

おらが村が新鮮な遊び場に

塩尻市小野上田区運動祭

2001年6月3日(日)

オリエンテーリング界では6月第一日曜日は学生クラブ主催大会の最大手、東大会ということになっています。しかし私は塩尻市小野上田区という所の、町内運動大会のオリエンテーリングの運営に招待されていってきました。

2週間前に担当者と現地を下見して、色々話しを聞いて、今回はビンゴOがいいだろう、ということになり、コースを設定しました。地図は塩尻市の行政区を1:5,000に拡大して使用しました。



当日は入梅前のピーカン天気になり絶好のオリエンテーリング日和。開会式やルールの説明のあと、9組約40名が区民運動公園をスタートしました。

皆さんが住んでいる上田区の中を使用したのも、誰も迷う人はいません。年よりなどは特に知り尽くしているのでオリエンテーリング自体よりビンゴゲームのほうが楽しかったよう

でした。

最初のチームが約40分。最後のチームも65分でゴール。ほぼ想定どおりの競技ができました。

みなさん口々に面白かったといってくださいました。オリエンテーリングによって、見慣れた故郷の再発見があったようです。

みんなのスポーツ

この地区では昔は球技大会を行っていました。しかし、球技を行うにはある程度のスキルが必要です。住民の戸数が120戸程度の村落で球技ができるものとなると自ずと参加者が限られてきます。

昨年はウォーキングをやったようですが、2時間も歩かせると子供や年寄りにはヘトヘトになったそうです。

老人と子供、そして大人達が一緒に楽しめる軽スポーツって何があるのでしょうか? そう考えたときに出てきたアイデアがオリエンテーリングだったのです。オリエンテーリングの良いところは、マイペースで参加できること。そして年齢や性別を問わずみんなで楽しめることです。

今年の運動大会の種目はゲートボールとオリエンテーリングという今まで私の見たことが無い組み合わせ。

楽しみ方は人それぞれ

今回は住民の地元の里山を中心にコース設定をしました。子供達には普段見なれた風景の中にも未知の地域があったでしょう。

大人達は良く知っている地域です。コントロールを見つけることは容易だったようです。しかし今回はビンゴO。色々と作戦を練りながらあーでもない、こーでもないという知的ゲームとしてオリエンテーリングを楽しんでいました。

意外だったのは、地元の結構な年配の方でも「ここらへんは初めて行った」という方もいらっしまったということでした。

色々使えるビンゴO

今回のビンゴOは参加者に4x4列のビンゴカードをお渡しし、このビンゴが2列完成したところでフィニッシュしてもらおうようなルールにしました。このビンゴカードは乱数で作成されており、1チームごとに数字の並びが違います。

1	9	11	4
16	2	12	14
15	6	8	5
7	13	3	10

トレインには16個のコントロールを置き、到着したコントロール番号の位置にパンチ穴をあけていきます。

参加者に配られる地図は16個のコントロール位置が記入されたもの。しかしコントロール番号は記載されていません。どの番号にいきあたるかは正に運次第ということです。

ギャンブル要素の多い競技ですが、ギャンブルはカードの上だけで行われています。一つ一つのコントロールを目指すオリエンテーリング自体は至って素直でここにはギャンブル要素はありません。ここは重要です。

「また来年もお願いします。」だって。当分東大会に出られそうにないですね。